

## 野菜の需給・価格動向レポート(平成27年5月11日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類		4月の価格情報			5月  (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	生育及び価格の5月の見通し		
		指定野菜の関東・近畿プロック旬別平均販売価額						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ	84.37	105	123	124	84.37 67.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：17,760t (100)</li> <li>主産地：千葉 (41)、神奈川 (31)、茨城 (9)</li> </ul>	
		86.69	87	111	142	86.69 81.66	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,800t (153)</li> <li>主産地：愛知 (56)、兵庫 (13)、大阪 (11)、熊本 (6)</li> </ul>	
	ねぎ (関東は白ねぎ、 近畿は青ねぎ)	264.10	231	352	321	264.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：3,840t (100)</li> <li>主産地：茨城 (34)、千葉 (30)、埼玉 (20)、輸入 (5)</li> </ul>	
		334.73	334	408	535	334.73	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：220t (96)</li> <li>主産地：徳島 (25)、三重 (17)、香川 (17)、奈良 (15)、高知 (8)、大阪 (7)</li> </ul>	
	はくさい	67.05	91	140	133	67.05	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：5,480t (95)</li> <li>主産地：茨城 (96)</li> </ul>	
		77.96	85	141	146	77.96	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,500t (92)</li> <li>主産地：熊本 (18)、大分 (16)、岡山 (8)、長野 (6)</li> </ul>	
	ほうれんそう	376.10	534	650	592	376.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,380t (102)</li> <li>主産地：群馬 (35)、茨城 (30)、埼玉 (11)、岩手 (9)</li> </ul>	
		396.89	502	700	710	396.89	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：480t (100)</li> <li>主産地：岐阜 (70)、福岡 (13)</li> </ul>	
	レタス (結球)	156.23	183	213	218	156.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：7,750t (95)</li> <li>主産地：茨城 (41)、長野 (31)、群馬 (16)</li> </ul>	
		165.00	199	240	249	165.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,500t (89)</li> <li>主産地：長野 (38)、兵庫 (38)、香川 (13)、徳島 (12)</li> </ul>	
	たまねぎ	91.24	95	101	109	71.02	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：13,050t (100)</li> <li>主産地：佐賀 (62)、兵庫 (8)、千葉 (6)、輸入 (5)</li> </ul>	
		91.24	99	111	117	71.02	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,600t (87)</li> <li>主産地：兵庫 (51)、佐賀 (41)</li> </ul>	
果 菜	きゅうり	253.93	290	480	294	189.84	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：8,430t (105)</li> <li>主産地：埼玉 (25)、群馬 (20)、千葉 (12)、茨城 (12)</li> </ul>	
		242.77	270	504	292	177.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,700t (97)</li> <li>主産地：宮崎 (40)、高知 (17)、徳島 (15)、愛媛 (10)</li> </ul>	
	トマト (大玉)	339.78	406	394	393	209.59	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：10,470t (100)</li> <li>主産地：熊本 (24)、栃木 (21)、愛知 (12)、茨城 (9)、千葉 (9)、埼玉 (6)、群馬 (3)</li> </ul>	
		321.78	379	368	369	228.53	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,000t (105)</li> <li>主産地：熊本 (65)、愛知 (13)、福岡 (12)</li> </ul>	
	なす	347.77	376	472	425	297.07	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,100t (95)</li> <li>主産地：高知 (46)、福岡 (20)、群馬 (8)、佐賀 (5)</li> </ul>	
		330.95	359	453	426	271.01	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,300t (112)</li> <li>主産地：高知 (36)、熊本 (18)、大阪 (16)、福岡 (14)、岡山 (9)</li> </ul>	
	ピーマン	308.36	557	538	598	308.36	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,550t (90)</li> <li>主産地：茨城 (75)、高知 (9)</li> </ul>	
		283.10	499	465	550	283.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：500t (142)</li> <li>主産地：宮崎 (49)、高知 (21)、茨城 (12)、鹿児島 (9)</li> </ul>	
根 菜	だいこん	86.59	103	119	118	86.59	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：10,330t (98)</li> <li>主産地：千葉 (81)</li> </ul>	
		94.24	88	90	98	94.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：3,000t (104)</li> <li>主産地：鹿児島 (37)、長崎 (31)</li> </ul>	
	にんじん	156.99	113	146	142	156.99	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：7,960t (100)</li> <li>主産地：徳島 (69)、千葉 (22)、輸入 (3)</li> </ul>	
		148.36	123	146	136	148.36	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,600t (214)</li> <li>主産地：徳島 (50)、長崎 (28)、宮崎 (19)</li> </ul>	

種類	4月の価格情報			5月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	生育及び価格の5月の見通し		
	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額						
	上旬	中旬	下旬				
いも	さといも	-	-	-	-		
	ばれいしょ	131.80	147	175	195		
		131.80	122	171	212		
				131.80	131.80		
					・入荷見込量：9,870t (95) ・主産地：長崎(47)、鹿児島(32)、北 海道(12)		
					・入荷見込量：4,300t (93) ・主産地：長崎(65)、鹿児島(18)、北 海道(12)		

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で（消費税は除く。）保証基準額の算定の基となる価格。

2 別々平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景あるいは保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く。）。

3 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（）内は前年対比。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス（結球）、トマトについてはトマト（大玉）の数値を用いている。

8 キャベツの平均価格は、上段が5月～15日まで、下段は5月16日～31日までの価格である。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、3月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,921gで前年比99%、購入金額は、1,939円で同103%となつた。

また、小売物価統計によると、4月のキャベツの小売価格は、268円で過去5か年平均比110%、レタスは、521円で同115%となり、キャベツ、レタスともに過去5か年平均を上回つた。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）

年	過去5カ年平均		平成26年		平成27年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	100
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	99
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	99
4月	4,765	1,855	4,871	1,887		
5月	5,089	1,917	5,146	1,993		
6月	5,056	1,902	4,998	1,976		
7月	4,402	1,737	4,542	1,770		
8月	4,315	1,731	4,275	1,846		
9月	4,688	1,844	4,745	2,035		
10月	5,191	1,902	5,455	1,973		
11月	4,990	1,700	5,291	1,704		
12月	5,146	1,921	5,233	1,977		

主要野菜の小売価格（東京都区部）

	(単位：円／kg)					
	キャベツ	平成27年	5カ年比 (%)	過去5カ年平均	平成27年	5カ年比 (%)
1月	212	229	108	684	827	121
2月	223	202	91	631	576	91
3月	205	169	82	500	511	102
4月	243	268	110	453	521	115
5月	163			365		
6月	137			317		
7月	160			332		
8月	138			400		
9月	158			591		
10月	174			469		
11月	164			429		
12月	172			546		

資料：総務省「小売物価統計調査報告」

注：1 過去5カ年平均は、平成22～26年の平均。

2 平成27年4月の値は、4月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

3月の野菜の輸入を貿易統計で見ると、生鮮野菜は、前年同月比94%の9万1千トン、加工野菜は同89%の13万6千トン、野菜全体は、同91%の22万7千トンとなつた。このうち中国産野菜合計は77%の9万2千トンとなつた。生鮮野菜、加工野菜ともに前年を下回つたことから、野菜全体においても前年をかなりの程度下回つた。

野菜の輸入数量

区分	平成25年		平成26年		平成27年1月～3月		平成27年3月
	前年比	年	前年比	年	前年同期比	前年同月比	
生鮮野菜	854,042	90	884,735	104	223,274	81	90,781
加工野菜	1,854,162	97	1,784,891	96	412,872	93	136,228
野菜合計	2,708,205	95	2,669,626	99	636,147	89	227,009
うち中国産野菜合計	1,415,762	97	1,409,144	100	315,643	89	92,050
中国産シェア	52		53		50		41

主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成26年3月(A)		平成27年3月(B)	
		(B)/(A)	(%)	(B)	(%)
たまねぎ	合計	32,777	84	27,522	93
	中国	23,134	93	21,573	89
	米国	2,177	131	2,850	102
にんじん	合計	8,623	66	5,707	66
	中国	4,771	89	4,236	89
	ベトナム	1,676	49	825	49
ねぎ	合計	5,258	78	4,101	78
	中国	5,197	79	4,088	79

資料：農林水産省「植物防疫統計」

輸入数量は、検査数量である。

注：平成27年3月は速報値。

冷凍を除く。

## 4 トピック — 平成25年「国民健康・栄養調査」からみた野菜の消費動向 —

平成27年4月公表の平成25年「国民健康・栄養調査」からみた、最近の野菜消費の特徴を紹介する。

野菜摂取量の目標は、厚生労働省の「健康日本2.1」では、健康増進の観点から、1日当たり350グラム（うち緑黄色野菜120グラム）とされているが、2.5年の野菜類（野菜ジュース、漬物を含む）の摂取量は、前年比▲1.2%の271.3グラムとなり、目標を下回る水準が続いている。1.5年の摂取量と比較すると、その他の野菜が増加（1.5年：161.0グラム→2.5年：165.8グラム）する一方、緑黄色野菜は減少（1.5年：94.2グラム→2.5年：83.6グラム）しており、2.0年以降もこの傾向が続いている。

また、品目別の動向を、データが揃う2.3年以降を見ると、ほうれん草など減少する一方、サラダやカット野菜の需要が堅調なトマト、にんじん、キャベツなどが増加している。

さらに、年代別では、20歳以上をみると、20～29歳層が最も少ない一方で、60～69歳層が最も高くなる傾向にあるが、70歳以上では前年比で減少するなどの動きも見られる。

これら野菜摂取量の変化には、食の外部化の進展等に伴う摂取形態の変化も一部で影響しているとみられる。例えば、同調査をもとに、朝・昼・晩の一日の食事を家庭食、調理済み食及び外食・給食の別にその割合を見ると、最近では昼と夜で調理済み食が増加している。（調理済み食の割合（23年→25年）：昼：7.6%→8.7%、夜：4.2%→4.5%）

また、「食料・農業及び水産業に関する意識・意向調査」（平成27年3月、農林水産省）の「中食の利用状況」においても、総菜類を週1回以上利用する消費者は51.1%を占めている。

今後、野菜の摂取量の増加を図るために、このような摂取形態の変化にも着目した生産・供給の取組強化が求められている。

野菜類摂取状況（1日当たり）